

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-523517(P2004-523517A)

【公表日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2002-557211(P2002-557211)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/09

A 6 1 K 31/282

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/661

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 35/78

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 31/09

A 6 1 K 31/282

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/661

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月20日(2004.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、有効量のコンブレタスタチンA-4化合物またはコンブレタチンA-1化合物との連続投与または同時投与と組み合わせて腫瘍の増殖または転移を調節するための医薬の製造における、少なくとも1つの有効量の抗癌剤の使用。

【請求項2】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、少なくとも1つの有効量の

抗癌剤の投与と組み合わせて腫瘍の増殖または転移を調節するための医薬の製造における、有効量のコンブレタスタチンA-4化合物またはコンブレタスタチンA-1化合物の使用であって、ここで、該医薬は、時間依存性有効腫瘍濃度の該抗癌剤を提供するように、該腫瘍への血流を調節するのに十分な該抗癌剤の投与と関連した時間に投与される、使用。

【請求項3】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、アルキル化剤、二官能性アルキル化剤、非ステロイドアロマターゼインヒビター、免疫療法剤、ニトロソ尿素化合物、代謝拮抗物質、抗腫瘍抗生物質、有糸分裂インヒビター、放射線、トポイソメラーゼIインヒビター、および抗エストロゲンからなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、シスプラチニン、カルボプラチニン、オキサリプラチニン、放射線、CPT-11、パクリタキセル、5-フルオロウラシル、ロイコボリン、エポチロン、ゲムシタビン、UFT、ハーセプチニン、シトキサン、ダカルバキシン、イホスファミド、メクロレタミン、メルファラン、クロラムブシリ、アナストロゾールおよびエキセムスタン、カルムスチニン、ロムスチニン、メトレキセート、ゲムシタビン、シタラビン、フルダラビン、ブレオマイシン、ダクチノマイシン、ダウノルビシン、ドキソルビシン、イダルビシン、ドセタキセル、ビンプラスチニン、ビンクリスチニン、ビノレルビン、トポテカン、ルプロン、メガス、ロイコボリン、イレッサ、フラボピリドール、免疫療法剤、ZD6474、SU6668、ならびにバルスボダールからなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項5】

前記抗癌剤が、「ピーク腫瘍濃度剤」であり、前記医薬と同時に投与されるかまたは近い時間に投与される、請求項2に記載の使用。

【請求項6】

前記抗癌剤が、シトキサン、マイトマイシンC、シスプラチニン、オキサリプラチニン、およびカルボプラチニンからなる群より選択される、請求項1または5に記載の使用。

【請求項7】

前記抗癌剤が、持続性曝露剤であり、前記医薬の投与後に投与される、請求項2に記載の使用。

【請求項8】

前記抗癌剤が、タキサン、エトポシド、リン酸エトポシド、イムノトキシン、およびエポチロンからなる群より選択される、請求項1または7に記載の使用。

【請求項9】

前記抗癌剤が、AUC剤であり、該AUC剤が、前記コンブレタスタチンA4化合物の投与前に投与される、請求項2に記載の使用。

【請求項10】

前記抗癌剤が、アドリアマイシン、CTP-11、およびトポテカンからなる群より選択される、請求項1または9に記載の使用。

【請求項11】

前記コンブレタスタチンA4化合物が、コンブレタスタチンA-4リン酸塩であり、前記抗癌剤がシスプラチニンである、請求項6に記載の使用。

【請求項12】

前記コンブレタスタチンA4化合物が、コンブレタスタチンA-4リン酸塩であり、前記抗癌剤がカルボプラチニンである、請求項6に記載の使用。

【請求項13】

前記コンブレタスタチンA4化合物が、コンブレタスタチンA-4リン酸塩であり、前記抗癌剤がCPT-11である、請求項10に記載の使用。

【請求項14】

前記コンブレタスタチンA4化合物が、コンブレタスタチンA-4リン酸塩であり、前記抗癌剤がパクリタキセルである、請求項8に記載の使用。

【請求項 15】

前記コンプレタスタチンA-1化合物が、コンプレタスタチンA-1ニリン酸塩であり、前記抗癌剤がシスプラチニンである、請求項6に記載の使用。

【請求項 16】

前記コンプレタスタチンA-1化合物が、コンプレタスタチンA-1ニリン酸塩であり、前記抗癌剤がカルボプラチニンである、請求項6に記載の使用。

【請求項 17】

前記コンプレタスタチンA-1化合物が、コンプレタスタチンA-1ニリン酸塩であり、前記免疫療法剤が、CPT-11である、請求項10に記載の使用。

【請求項 18】

前記コンプレタスタチンA-1化合物が、コンプレタスタチンA-1ニリン酸塩であり、前記免疫療法剤が、パクリタキセルである、請求項8に記載の使用。

【請求項 19】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、腫瘍の増殖または転移を調節するための薬学的組成物であって、薬学的に受容可能なキャリア中に、有効量の少なくとも1つの抗癌剤およびコンプレタスタチンA-4化合物またはコンプレスタチンA-1化合物を含有する、薬学的組成物。

【請求項 20】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、シスプラチニン、カルボプラチニン、オキサリプラチニン、放射線、CPT-11、パクリタキセル、5-フルオロウラシル、ロイコボリン、エポチロン、ゲムシタビン、UFT、ハーセプチニン、シトキサン、ダカルバキシン、イホスファミド、メクロレタミン、メルファラン、クロラムブシリ、アナストロゾールおよびエキセムスタン、カルムスチン、ロムスチン、メトトレキセート、ゲムシタビン、シタラビン、マイトイシンC、フルダラビン、ブレオマイシン、ダクチノマイシン、ダウノルビシン、ドキソルビシン、イダルビシン、ドセタキセル、ビンプラスチニン、ビンクリスチニン、ビノレルビン、トポテカン、ルプロン、メガス、ロイコボリン、イレッサ、フラボピリドール、免疫療法剤、ZD6474、SUT6668、ならびにバルスボダールからなる群より選択される、請求項19に記載の薬学的組成物。

【請求項 21】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、シトキサン、マイトイシンC、シスプラチニン、オキサリプラチニン、およびカルボプラチニンからなる群より選択される、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 22】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、タキサン、パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシド、リン酸エトポシド、およびエポチロンからなる群より選択される、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 23】

前記少なくとも1つの抗癌剤が、アドリアマイシン、CTP-11、およびトポテカンからなる群より選択される、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 24】

前記抗癌剤が、シスプラチニンである、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 25】

前記抗癌剤が、カルボプラチニンである、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 26】

前記抗癌剤が、CPT-11である、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 27】

前記抗癌剤が、パクリタキセルである、請求項20に記載の薬学的組成物。

【請求項 28】

前記コンプレスタチンA-4化合物が、コンプレスタチンA-4リン酸塩である、請求項20～27に記載の薬学的組成物。

【請求項 29】

前記コンプレスタチンA-1化合物が、コンプレスタチンA-1ニリン酸塩である、請求項20～27に記載の薬学的組成物。